

浪江町(津島地区)

関係施設

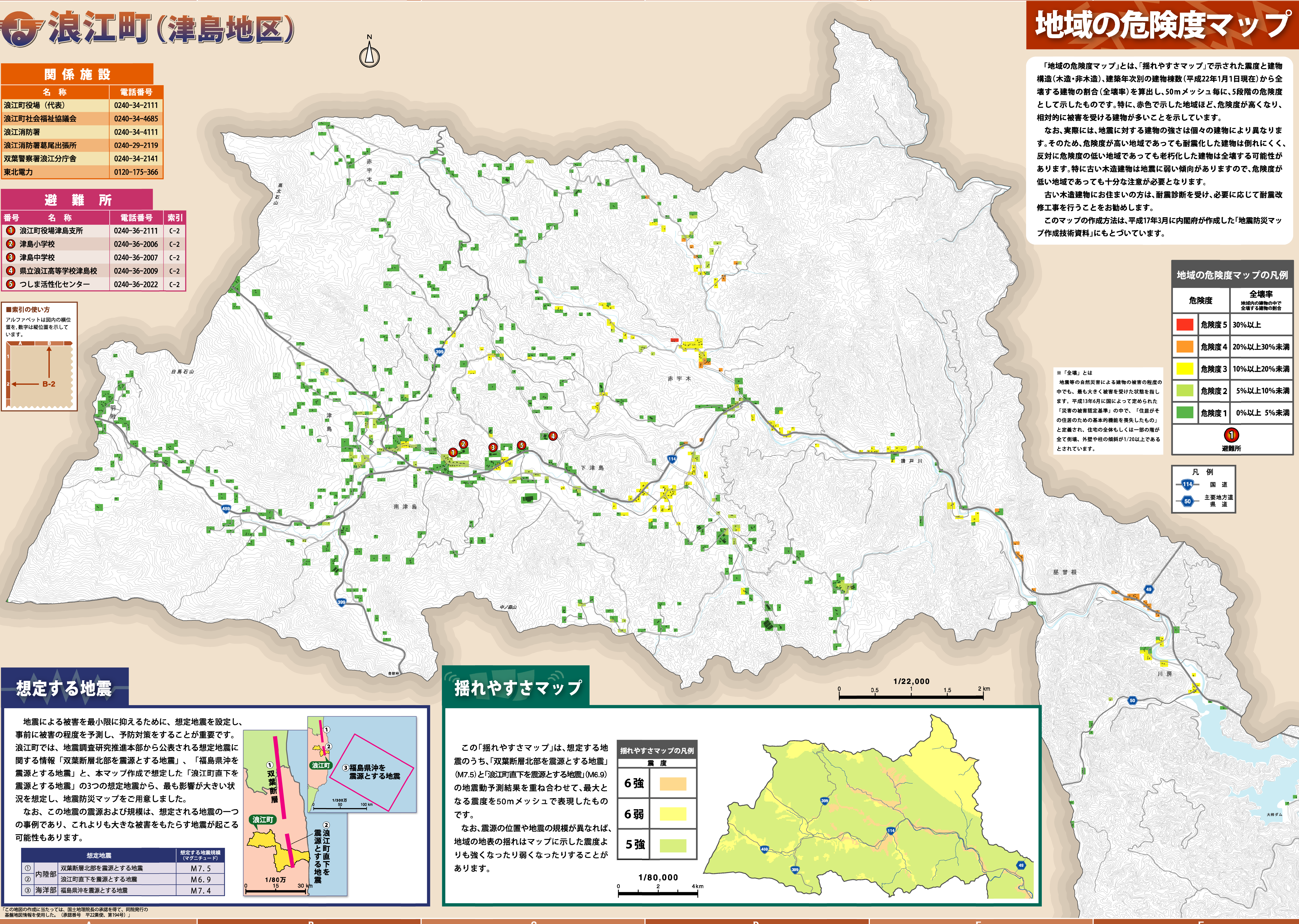
名 称	電話番号
浪江町役場（代表）	0240-34-2111
浪江町社会福祉協議会	0240-34-4685
浪江消防署	0240-34-4111
浪江消防署葛尾出張所	0240-29-2119
双葉警察署浪江分庁舎	0240-34-2141
東北電力	0120-175-366

避難所

番号	名 称	電話番号	索引
①	浪江町役場津島支所	0240-36-2111	C-2
②	津島小学校	0240-36-2006	C-2
③	津島中学校	0240-36-2007	C-2
④	県立浪江高等学校津島校	0240-36-2009	C-2
⑤	つしま活性化センター	0240-36-2022	C-2

■索引の使い方

アルファベットは図内の横位置を、数字は縦位置を示しています。



地域の危険度マップ

「地域の危険度マップ」とは、「揺れやすさマップ」で示された震度と建物構造（木造・非木造）、建築年次別の建物棟数（平成22年1月1日現在）から全壊する建物の割合（全壊率）を算出し、50mメッシュ毎に、5段階の危険度として示したものです。特に、赤色で示した地域ほど、危険度が高くなり、相対的に被害を受ける建物が多いことを示しています。

なお、実際には、地震に対する建物の強さは個々の建物により異なります。そのため、危険度が高い地域であっても耐震化した建物は倒れにくく、反対に危険度の低い地域であっても老朽化した建物は全壊する可能性があります。特に古い木造建物は地震に弱い傾向がありますので、危険度が低い地域であっても十分な注意が必要となります。

古い木造建物にお住まいの方は、耐震診断を受け、必要に応じて耐震改修工事を行うことをお勧めします。

このマップの作成方法は、平成17年3月に内閣府が作成した「地震防災マップ作成技術資料」にもとづいています。

地域の危険度マップの凡例		
危険度	全壊率 地域内の建物の中で 全壊する建物の割合	
	危険度 5	30%以上
	危険度 4	20%以上30%未満
	危険度 3	10%以上20%未満
	危険度 2	5%以上10%未満
	危険度 1	0%以上 5%未満
① 避難所		

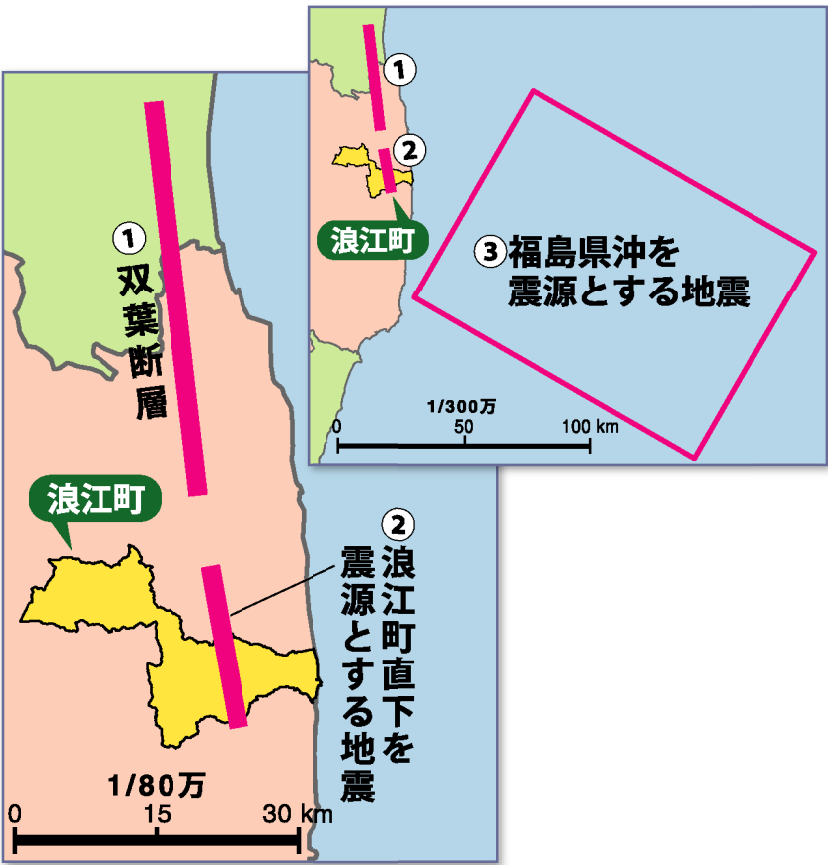
凡 例	
 114	国 道
 50	主要地方道 県 道

想定する地震

地震による被害を最小限に抑えるために、想定地震を設定し、事前に被害の程度を予測し、予防対策をすることが重要です。浪江町では、地震調査研究推進本部から公表される想定地震に関する情報「双葉断層北部を震源とする地震」、「福島県沖を震源とする地震」と、本マップ作成で想定した「浪江町直下を震源とする地震」の3つの想定地震から、最も影響が大きい状況を想定し、地震防災マップをご用意しました。

なお、この地震の震源および規模は、想定される地震の一つの事例であり、これよりも大きな被害をもたらす地震が起こる可能性もあります。

	想定地震	想定する地震規模 (マグニチュード)
① 内陸部	双葉断層北部を震源とする地震	M7.5
②	浪江町直下を震源とする地震	M6.9
③ 海洋部	福島県沖を震源とする地震	M7.4



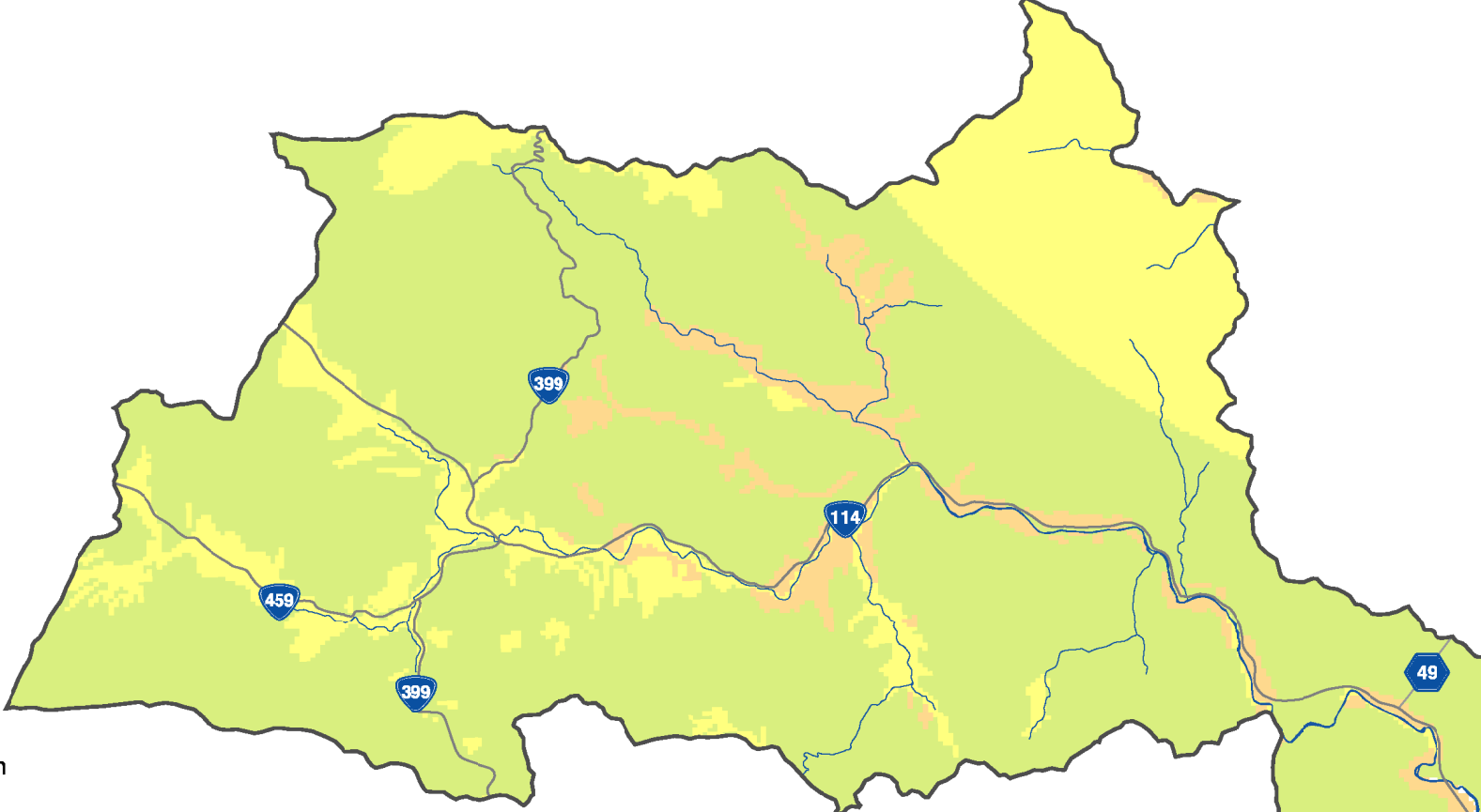
揺れやすさマップ

この「揺れやすさマップ」は、想定する地震のうち、「双葉断層北部を震源とする地震」(M7.5)と「浪江町直下を震源とする地震」(M6.9)の地震動予測結果を重ね合わせて、最大となる震度を50mメッシュで表現したものです。

なお、震源の位置や地震の規模が異なれば、地域の地表の揺れはマップに示した震度よりも強くなったり弱くなったりすることがあります。

揺れやすさマップの凡例	
震 度	
6 強	
6 弱	
5 強	

1/80,000



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平22製保 第194号）」